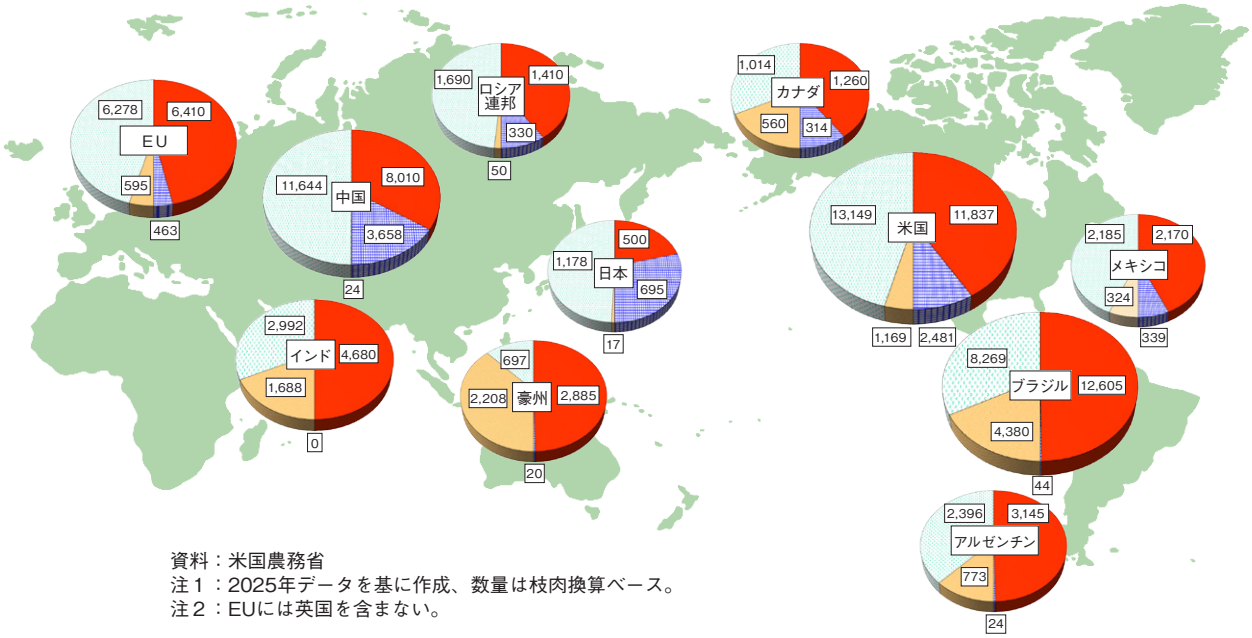
絵で見る世界の畜産物需給

牛　肉



消費量（千トン）　生産量（千トン）
輸出量（千トン）　輸入量（千トン）



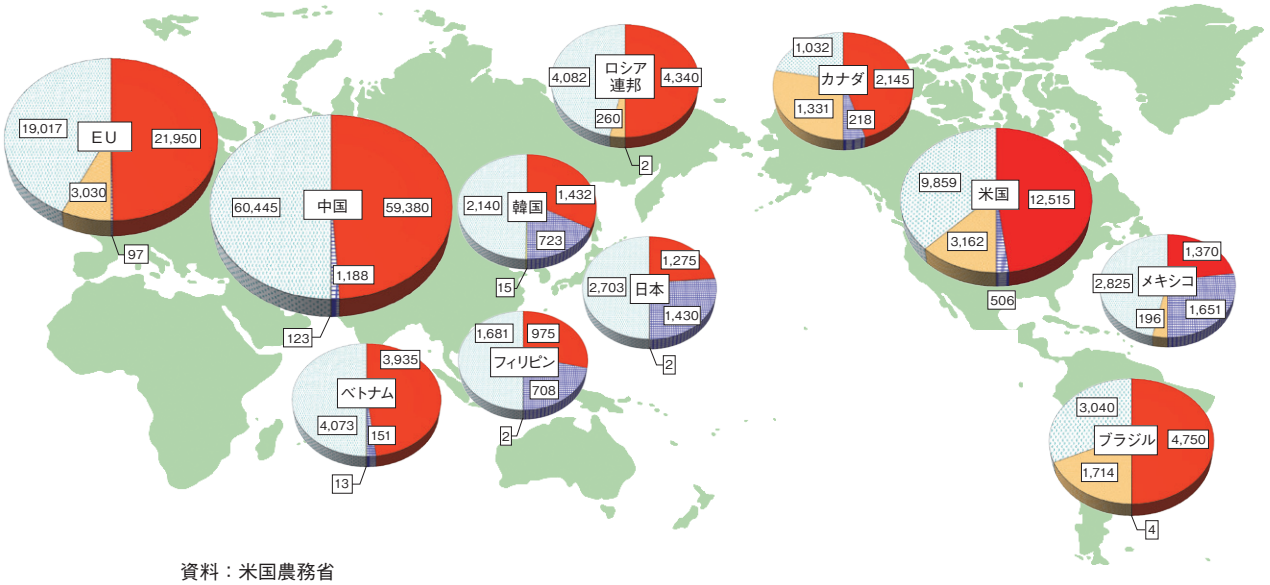
資料：米国農務省
注１：2025年データを基に作成、数量は枝肉換算ベース。
注２：EUには英国を含まない。

2025年の世界の牛肉生産量は、7755万トン（枝肉換算ベース、FAO Food Outlook、2026年６月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、米国（1184万トン）、EU（641万トン）などの先進国のほかに、ブラジル（1261万トン）、中国（801万トン）、インド（468万トン、水牛肉を含む）、アルゼンチン（315万トン）といった新興国である。牛肉消費量は、米国が世界最大の消費国であるが、中国およびアルゼンチンの消費も増加している。牛肉輸出量は、ブラジル（438万トン）、豪州（221万トン）、インド（169万トン）、米国（117万トン）の順に多い。また、日本への輸出量が多い米国や豪州、カナダ（56万トン）の３カ国で全輸出量の約３割を占める。

豚　肉



消費量（千トン）　生産量（千トン）
輸出量（千トン）　輸入量（千トン）



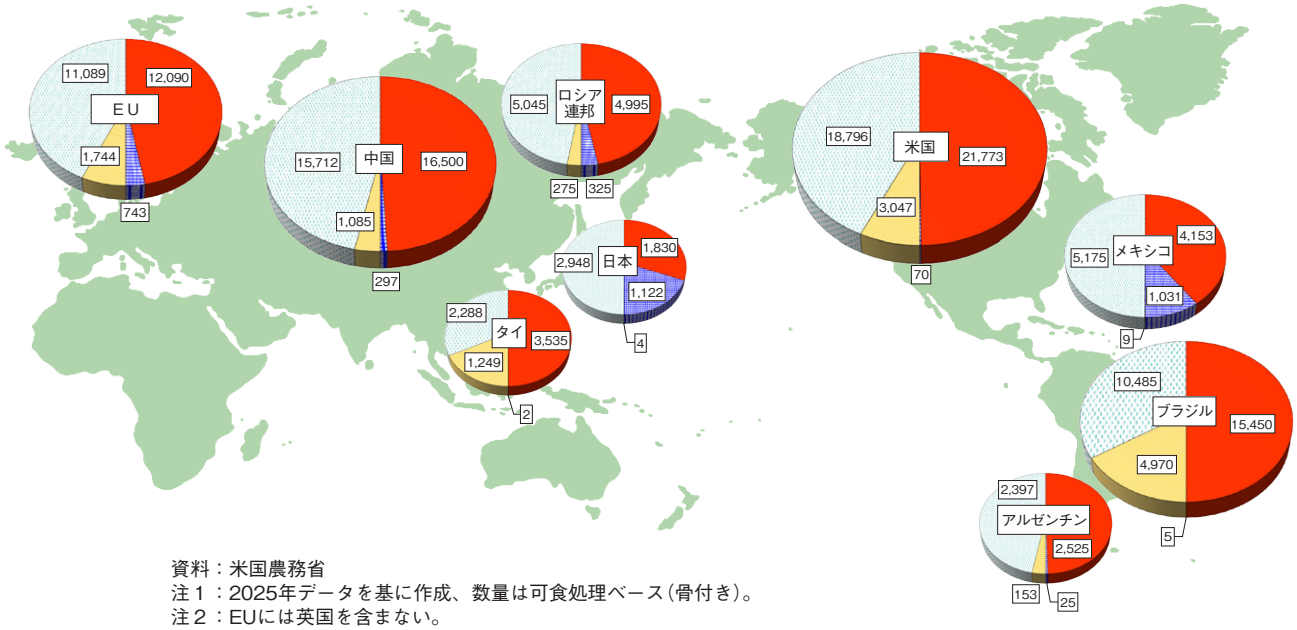
資料：米国農務省
注１：2025年データを基に作成、数量は枝肉換算ベース。
注２：EUには英国を含まない。

2025年の世界の豚肉生産量は、１億2869万トン（枝肉換算ベース、FAO Food Outlook、2026年６月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、中国（5938万トン）であり、これにEU（2195万トン）や米国（1252万トン）などが続く。中国および米国は生産性の向上により、また、ブラジル（475万トン）は、堅調な国際需要に支えられ、生産量の増加が見込まれる。EUは、主要輸出先の中国におけるアンチダンピング関税により輸出量が減少している。中国以外のアジア地域では、ベトナム、韓国、フィリピンなどの生産量や消費量が多い。日本は生産量が128万トンであるが、消費量のおよそ半分の143万トンを輸入している。

鶏　肉



消費量（千トン）　生産量（千トン）
輸出量（千トン）　輸入量（千トン）



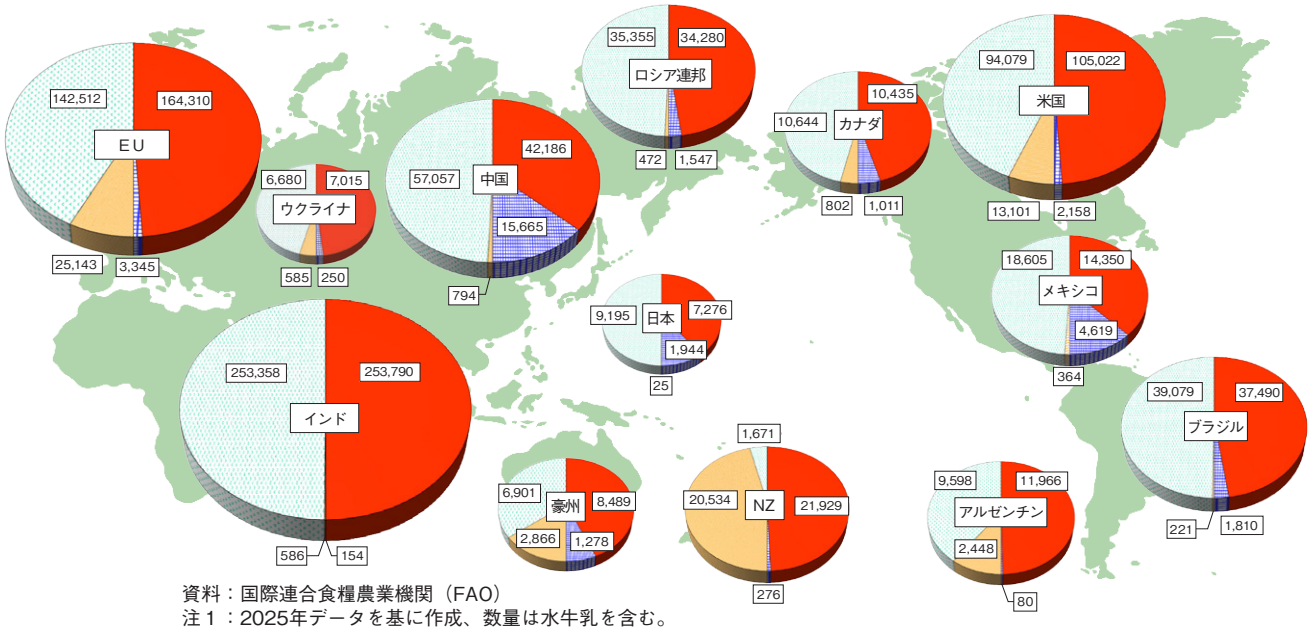
資料：米国農務省
注１：2025年データを基に作成、数量は可食処理ベース（骨付き）。
注２：EUには英国を含まない。

2025年の世界の鶏肉生産量は、１億5628万トン（骨付き換算ベース。FAO Food Outlook、2026年６月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、米国（2177万トン）であり、これに中国（1650万トン）、ブラジル（1545万トン）が続く。このほか、EU（1209万トン）、メキシコ（415万トン）などで増加している。鶏肉消費量は、手ごろな価格であることにより堅調な需要に支えられ増加している。鶏肉輸出量は、ブラジル（497万トン）、米国（305万トン）、EU（174万トン）、タイ（125万トン）の順に多く、ブラジルと米国で世界の輸出量の約５割（48%）を占める。

生　乳



消費量（千トン）　生産量（千トン）
輸出量（千トン）　輸入量（千トン）



資料：国際連合食糧農業機関（FAO）
注１：2025年データを基に作成、数量は水牛乳を含む。
注２：輸入量および輸出量は、各国・地域の製品ベースの数量にFAOが定める係数を乗じて算出している。
注３：EUに英国は含まない。

2025年の世界の生乳生産量（水牛乳含む）は、10億373万トン（FAO Food Outlook、2026年６月）と見込まれる。主要生産国は、インド（２億5379万トン）、EU（１億6431万トン）、米国（１億502万トン）であり、これに中国（4219万トン）、ブラジル（3749万トン）が続く。26年はインドなどアジアにおいて引き続き生乳生産量の増加が予測されている一方で、EUでは環境規制の強化などによりわずかな減少が予測されている。2025年の貿易量（輸出量・生乳換算）は9122万トンと見込まれ、その貿易率は9.1％と穀物や砂糖、牛肉、家きん肉などと比べて低い。主要輸出国（地域）は、EU、ニュージーランド、米国、豪州などである。